

# 岩手・宮城内陸地震の発生から5年が経過。県所管施設については完全復旧の見込み

●平成20年6月14日に岩手県内陸南部を震源に「岩手・宮城内陸地震」が発生し、県内では栗原市を中心に甚大な被害に見舞われる。

北部土木栗原地域事務所が所管する施設については、140箇所あまりの被害がありましたが、平成22年9月に国道398号及び主要地方道築館栗駒公園線を全線通行可能とするなど、着実に復旧を進めてきました。現在では、栗原市の耕英東地区（旧駒ノ湯温泉付近）で実施中の砂防激特事業を残すのみとなっており、当事業も今年度内には事業が完了する見込みとなっています。

地元地域の方々が安心して住まわれるよう、また、沿岸部の復興の後押しとなるよう関係者一丸となって取り組んでいきます。



## ■砂防激特事業復旧状況（栗原市栗駒沼倉耕英東地区）

赤書：平成25年度施工箇所

平成25年5月空撮



## ■道路災害復旧状況 国道398号（栗原市花山本沢松原地区）



## ■河川・砂防災害復旧状況 迫川（栗原市花山本沢早城地区）



▲詳しくはURLを参照願います。  
平成20年岩手・宮城内陸地震災害復旧の歩み <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khdbk/nairikujsin-ayumi.html>  
岩手・宮城内陸地震災害復旧だより <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khdbk/nairikujsin-top.html>

### ○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

H P : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>

TEL : 022-211-3108 E-mail : [dobokgk1@pref.miyagi.jp](mailto:dobokgk1@pref.miyagi.jp)

バックナンバー :

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/fukou-dayori.html>

新生宮城の発展に向けて

復興加速

復興実感

宮城県土木部

がんばるっちゃ!

# 宮城県土木部復興だより

第10号

平成25年7月19日発行

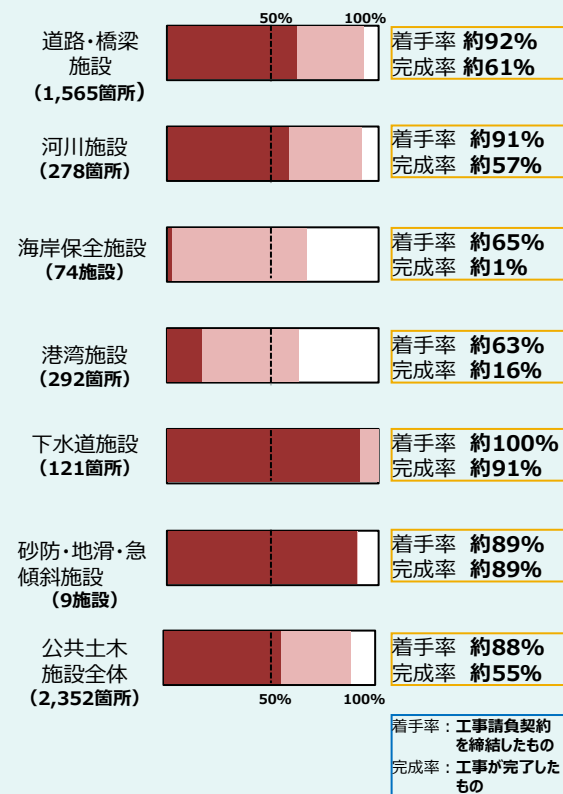
## Contents

2ヶ月に一回のペースで、宮城県土木部の最新の復旧・復興ニュースをコンパクトにまとめて発信しております。

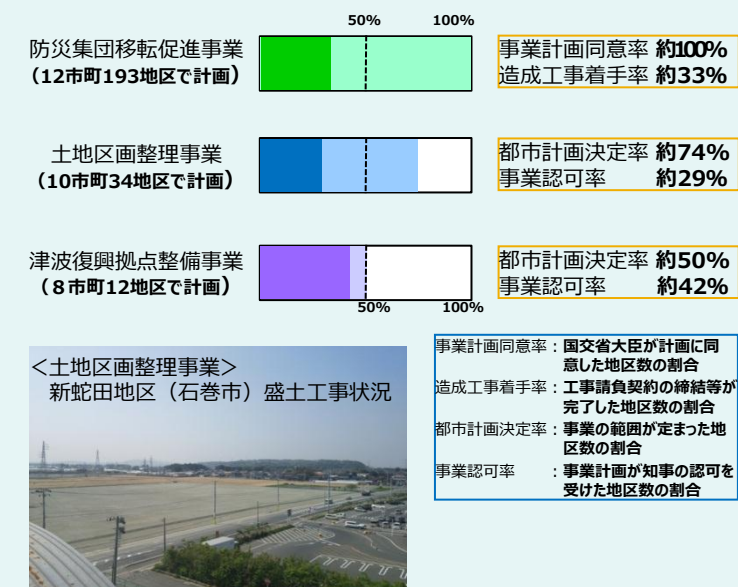
- 東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況【6月末現在】
- 土木部復興トピックス
- 岩手・宮城内陸地震の発生から5年が経過

## 東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況【6月末現在】

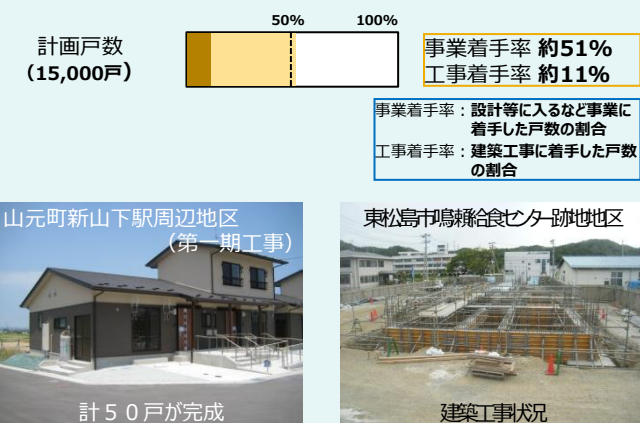
### ●災害復旧工事の進捗状況



### ●復興まちづくり事業の進捗状況



### ●災害公営住宅の整備状況



▲詳しくはURLを参照願います <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>

# 土木部復興トピックス（5月中旬～7月上旬）

## ●5月18日(土) 弘川ダム竣工式 開催

伊里前川総合開発事業の一環として平成4年度に着手した「弘川ダム」が、4月26日に試験湛水を終了し、ダム建設工事が完成の運びとなったことから、竣工を記念して竣工式典を開催しました。



▲詳しくはURLを参照願います  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/damsyunkoushiki.html>

## ●5月20日(月) 塩竈市錦町地区災害公営住宅建設工事安全祈願祭 開催



塩竈市錦町地区で災害公営住宅の建設開始に先駆けて、工事安全祈願祭が開催されました。錦町地区においては、40戸の災害公営住宅の建設が計画されており、平成26年度に供用開始を予定しています。

## ●5月25日(土) 平成25年度津波防災シンポジウム ～地域で育てる津波防災文化～ 開催

群馬大学広域首都圏防災研究センター長・群馬大学理工学研究院教授 片田 敏孝先生から、「3.11東日本大震災の教訓～海と共存する文化を地域に築く」と題し講演いただき、岩手県釜石での防災教育で伝え続けてきた避難三原則（『想定にとらわれない』『最善を尽くせ』『率先避難者たれ』）など、有益で興味深い内容をお話頂きました。



▲詳しくはURLを参照願います  
<http://www.pref.miyagi.jp/site/0311densyogensaip/dobokubu-tsunami-h250525.html>

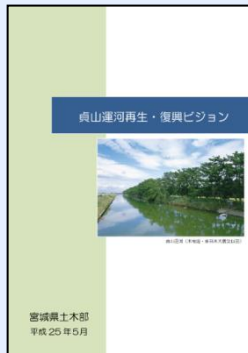
## ●6月4日(火) 多賀城市桜木地区災害公営住宅建設工事安全祈願祭 開催



多賀城市桜木地区では、「触れ合いを通じて、安全で住みやすく美しいまちを、共に育てる」をコンセプトに160戸の災害公営住宅の建設が計画されており、平成26年11月以降の入居開始を予定しています。

## ●5月22日(水) 「貞山運河再生・復興ビジョン」策定

当ビジョンは、運河群が縦断する仙台湾沿岸地域の復興において目標とする姿や、それを実現するための取組みを示したもので、沿岸地域を未来に向けた「鎮魂と希望のエリア」として再生するため、国や沿岸市町と連携して策定しました。様々な主体の連携により、復興のシンボルと誇れる運河群の再構築を目指します。



▲詳しくはURLを参照願います  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/ki-teizan-vision.html>

## ●5月29日(水) 石巻市南浜地区に震災復興祈念公園を整備することを決定

震災で亡くなられた多くの方々の慰霊の場として、また震災の教訓を後世に伝承する場として、最大の被災地である石巻市南浜地区に県・石巻市が協同で祈念公園を整備することにしました。

## ●6月11日(火) 平成25年度宮城県港湾復興大会 開催

港湾の早期復興を図ることを目的に、地区要望の集約、決議の採択を行いました。これをもって今後、国等の関係方面に対して港湾の整備に係る要望活動を実施していきます。



## ●6月13日(木) 防災集団移転促進事業の事業計画に係る同意地区が100%に

6月13日に開催された復興整備協議会（被災市町長が会長となり、知事や国の関係機関の長が構成員となって、復興整備計画及びその実施に関し必要な事項を協議する）において、気仙沼市浦の浜地区が事業計画の国土交通大臣同意を得て、県内の計画地区の事業計画の大臣同意率が100%となりました。

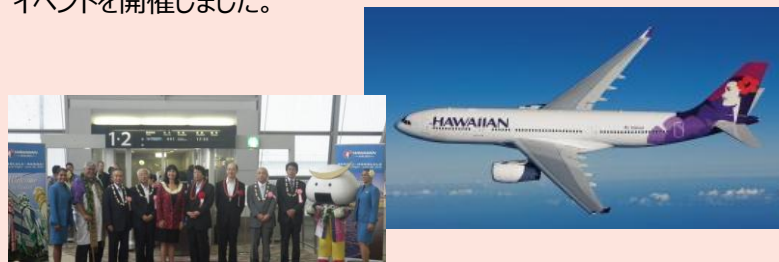
## ●6月16日(日) 気仙沼市防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備促進事業造成工事着工式 開催

気仙沼市が計画する住宅団地造成の初めての着工式が行われました。津波による被害を受けた集落を中心に、住民意向を踏まえて、高台移転などを利用し、安全な住居環境・空間を形成していきます。



## ●6月26日(水) ハワイアン航空「仙台－ホノルル線」が新規就航

10年ぶりとなるホノルルへの定期便が就航いたしました。週に3往復運航いたしますので、ハワイへお出かけの際には、ぜひご利用下さい。当日は、ハワイアン航空の新規就航を記念した式典と、歓迎おもてなしイベントを開催しました。



## ●7月1日(月) 「仙台南部道路」がますます便利に

宮城県道路公社が管理する「仙台南部道路」は、7月1日をもって東日本高速道路株式会社に移管しました。仙台都市圏高速環状ネットワークはこの度の管理者一元化により、均一な料金サービスが図られ、また、災害時、事故発生時などには、迅速な対応が期待されます。



移管に先立ち、6月21日に関係機関の代表者により引継式が開催されました。

▲利用料金も値下げされています。詳しくはURLを参照願います  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/road/ikan.html>

## ●6月15日(土) 仙台アカーゴターミナル国際貨物棟等完成



震災で焼失した仙台空港の国際貨物棟や燻蒸設備が2年3か月ぶりに再建され「竣工式」と「内覧会」が開催されました。

## ●6月18日(火) 外貿コンテナ定期航路（韓国航路）の中国延伸に係る第1船歓迎セレモニー 開催

仙台塩釜港(仙台港区)へ寄港している韓国コンテナ航路が、中国の寧波(ニポー)、上海及び韓国の蔚山(ウルサン)まで延伸することになりました。外貿コンテナ定期航路は、中国/韓国航路が3航路・週3便、北米西岸航路が1航路・週1便の計4航路・週4便となります。



## ●6月30日(日) 岩沼海岸植樹式 開催

国土交通省、県、岩沼市等では、仙台湾南部海岸の堤防復旧が完了した岩沼海岸において、自然環境や景観に配慮することを目的として、海岸堤防の陸側に施工した盛土の部分を活用して植樹式を開催しました。

